平成28年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省28-⑶)

						(境境省28一35)	
施策名	目標7-4 環境保健に関する調査研究						
	近年様々な健康被害をもたらしていると指摘されており、国民的な関心は高いが因果関係は科学的には明らかにされていない環境因子について、調査研究を推進する。 ① 花粉症についての情報の提供を行い、花粉症の発症・増悪の予防を進める。 ② 黄砂の健康影響についての実態を明らかにし、必要に応じて適切な対応を検討する。 ③ 熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について、科学的な知見を収集し、一般に普及啓発を行う。						
達成すべき目標	花粉症、黄砂の健康影響、熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について調査研究を進めるとともに、一般 への普及啓発をはかる。						
		区分	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算(a)	70	83	102	85	
施策の予算額・執行額等		補正予算(b)	-	-			
加東の丁昇領・執1]領守		繰越し等(c)	-	-	(※記入は任意)		
		合計(a+b+c)	70	83	(※記入は任意)		
	執行	額(百万円)	63	75	(※記入は任意)		
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)							

	①花粉飛散モデルによる 予測総花粉量と実際の総 花粉量の寄与率(R^2)	基準値			実績値			目標値	達成
		年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	年度	
		ı	21.7%	73.0%	28.5%	46.2%	_	60%	×
	年度ごとの目標値	/		60%	60%	60%			
	②黄砂による健康影響に 係る調査対象者数	基準	施策の進捗状況(実績)				目標	達成	
		年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	年度	
		Ī	Ī	51	77	81	82	_	0
測定指標	年度ごとの目標	/	ı	50	100	80	80		
则足钼 惊	③自治体からの希望に応じて 作成した熱中症啓発資料 (リーフレット2種、はがき、カー ド)単位:千部	基準		施策の進捗状況(実績)			目標	達成	
		年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	年度	
		Ī	1,343	1,366	2,539	3,132	3,064	_	-
	年度ごとの目標	/	_	_	_	1	_		
	④アンケート回答自治体 における暑くなる前から熱 中症対策を行っている自 治体の割合	基準		施策σ)進捗状況	!(実績)		目標	達成
		年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	年度	
		_	_	89.8%	99.2%	100%	98.6%	-	Δ
	年度ごとの目標		_	_	_	_	_		

		(各行政機関共通区分)	相当程度進展あり				
評価結果	目標達成度合いの 測定結果	(判断根拠)	①:花粉の飛散量予測については、民間に普及してきたことから平成27年度終了した。 ②:黄砂による健康影響に係る調査については、ぜんそく患者と黄砂飛散との関連性について調査を行っており、正確な結果を得るためには一定以上の調査参加者を確保する必要があることから、その人数を目標として設定した。目標に達成する人数を確保できた。 ③、④:熱中症に関する普及、啓発事業については、各自治体でどの程度熱症に関する意識付けがなされているかどうかの指標として、自治体からの希望に応じて作成する熱中症普及啓発資料の部数及び都道府県、政令市、中核市、保健所政令市(アンケート対象自治体)における「暑くなる前からの熱中症対策実施割合」を指標として設定した。資料の作成部数が前年度と比較して地加していることや、全ての調査自治体が暑くなる前から熱中症対策を行っていることを踏まえると、各自治体において一定の意識付けがなされているものと考えられる。				
	施策の分析	※モニタリング評価年度のため記載不要					
	次期目標等への	【施策】	※モニタリング評価年度のため記載不要				

反映の方向性	【測定指標】	※モニタリング評価年度のため記載不要
		いては、有識者を集めたワーキンググループを開催した上で実施するとともに、「微小 査研究検討会」で進捗を発表している。
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成28年度 黄砂によ	る健康影響調査検討業務報告書

担当部局名	環境保健部 環境	作成責任者名	環境安全課長	政策評価実施時期	平成29年8月
	安全課	(※記入は任意)	龍口 博明	***************************************	1 774== 1 = 7 .